

# クオリティ・オブ・ソサエティ指標 (パイロット調査)

2021年3月

# Report

➤ 本調査内容に関する問合せ先  
電通総研：山崎、吉田、日塔  
E-mail [d-ii@dentsu.co.jp](mailto:d-ii@dentsu.co.jp)

クオリティ  
オブ  
ソサエティ

電通  
総研

電通総研は、電通総研コンパス、世界価値観調査、日本の潮流レポート「SSX－余力社会へ」、クオリティ・オブ・ソサエティ2021レポート、各界有識者からの知見の集約などの活動や電通総研ウェブサイトでの発信を進めながら、これからの社会像についての仮説を積み重ねてきました。

これらの知見をベースに、中長期スパン（\*）で、新たな社会像や社会目標に向けて、基盤となる人びとの意識や価値観の項目（日本国内およびグローバルの双方を視野に入れて）を提示し、電通総研の既存の知見と新たな独自調査の結果に基づいて指数化、指標化（クオリティ・オブ・ソサエティ指標）をおこないます。今回は、指標化の開発へ向けたパイロット調査の結果についてご紹介いたします。

#### \* 中長期スパンの意味

- ・ 2030年代 世界各国でガソリン車販売の規制強化
- ・ 2040年 日本の高齢者人口比率がピーク
- ・ 2050年まで 海洋プラスチック廃棄物新規流出ゼロ（G20大阪サミット2019）
- ・ 2050年まで 温室効果ガス排出ゼロ（菅義偉首相） など

## ■指標1 現在の日本社会やあなたの生活について

- Q 1 : 他者への寛容
- Q 2 : デジタル・ディバイド
- Q 3 : 所有かシェアか
- Q 4 : 家族以外の信頼
- Q 5 : 政治参加
- Q 6 : リスク対応の社会的脆弱性
- Q 7 : 国の余力
- Q 8 : 地域社会の余力
- Q 9 : 家計の余力
- Q 10 : 社会への不安
- Q 11 : 社会への希望

## ■指標2 10年後の日本社会予想

- Q 1 : 出生数
- Q 2 : インクルージョンの達成
- Q 3 : 他者への信頼
- Q 4 : 技術進歩と人間性

## ■指標3 今後、国際社会や日本が目指すべき方向性

- Q 1 : 地球環境対応のペース
- Q 2 : 国際協調
- Q 3 : 一極集中か多極分散か
- Q 4 : 中央集権か地方分権か
- Q 5 : 平等か成果に応じた分配か
- Q 6 : セーフティネットか税負担の少なさか

## ■調査概要

調査時期 : 2020年12月25日～26日

対象地域 : 全国

対象者 : 18～79歳男女 ※高校生を除く

サンプル数 : 6,000人

調査方法 : インターネット調査

業種排除 : 出版・印刷関連産業、放送業、調査業・広告代理業

(注) グラフ内の各割合は全体に占める回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しています。そのため各割合の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

現在の日本社会やあなたの生活について				
他者への寛容	【A】個人の自律性を重んじて、他者の行動に対して寛容な態度をとりたい	76.1	24.0	【B】社会全体の視点を重んじて、他者の行動に対して厳しい態度をとりたい
デジタル・ディバイド	【A】デジタル化は、教育機会の拡大、不平等の解消につながる	50.1	49.9	【B】デジタル化は、教育機会の不均衡、格差の拡大につながる
所有かシェアか	【A】必要なものは、所有して利用したい	83.3	16.7	【B】必要なものは、借りて利用したい
家族以外の信頼	【A】家族だけを信頼している	45.7	54.3	【B】家族以外に信頼できる人がいる
政治参加	【A】政治や社会を変えるためには、制度化された投票行動が、有効だと思う	56.3	43.7	【B】政治や社会を変えるためには、ボランティア活動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などの行動が有効だと思う
リスク対応の社会的脆弱性	【A】大震災、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して、社会的に十分な対応が整っていると思う	19.7	80.3	【B】大震災、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して、社会的に十分な対応が整っていないと思う
国の余力	【A】日本には余力があると思う	31.2	68.8	【B】日本には余力がないと思う
地域社会の余力	【A】自分の住む地域社会には余力があると思う	41.5	58.5	【B】自分の住む地域社会には余力がないと思う
家計の余力	【A】自分の家計には余力があると思う	38.2	61.8	【B】自分の家計には余力がないと思う
社会への不安	【A】これからの社会に不安がある	87.2	12.8	【B】これからの社会に不安がない
社会への希望	【A】これからの社会に希望がある	37.4	62.6	【B】これからの社会に希望がない
10年後の日本社会予想				
出生数	【A】「日本の出生数」は、減り続けていると思う	88.5	11.5	【B】「日本の出生数」は、下げ止まっていると思う
インクルージョンの達成	【A】年齢、国籍、性別などが制約にならない社会になっていると思う	44.1	55.9	【B】年齢、国籍、性別などが制約にならない社会になっていないと思う
他者への信頼	【A】他者への信頼感が高い社会になっていると思う	25.6	74.4	【B】他者への信頼感が低い社会になっていると思う
技術進歩と人間性	【A】技術が進歩するほど、人間性が大切にされる世界になっていると思う	36.4	63.6	【B】技術が進歩するほど、人間性が損なわれる世界になっていると思う
今後、国際社会や日本が目指すべき方向性				
地球環境対応のペース	【A】国際社会は、温暖化など地球規模の環境問題への取り組みに対して、今よりさらにペースを加速すべき	72.6	27.4	【B】国際社会は、地球環境問題と経済力維持の両方を重要視して、現状のペースを維持すべき
国際協調	【A】他国と協調して、グローバルな社会課題を解決することを優先すべき	68.1	32.0	【B】自国の力で、自国の社会問題を解決することを優先すべき
一極集中か多極分散か	【A】日本は、政治・経済・文化などの重要な機能が、東京、大阪、名古屋など少数の大都市に効率的に集中している「一極集中型」社会を目指すべき	21.3	78.8	【B】日本は、コミュニティ・経済などの機能が集約されている地域が多数存在し、地域ごとの文化や生活に多様性があり、リスクも分散できる「多極型」社会を、目指すべき
中央集権か地方分権か	【A】人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、日本政府が多くの権限をもち決定すべき	25.7	74.3	【B】人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、日本政府は各自治体に多くの権限を移譲すべき
平等か成果に応じた分配か	【A】日本は、働いた成果とあまり関係なく、貧富の差が少ない平等な社会を目指すべき	53.7	46.4	【B】日本は、自由に競争し、成果に応じて分配される社会を目指すべき
セーフティネットか税負担の少なさか	【A】日本は、税負担は大きいですが、福祉などの行政サービスが充実した社会を目指すべき	68.8	31.2	【B】日本は、福祉などの行政サービスを必要最小限に絞り、税負担の少ない社会を目指すべき

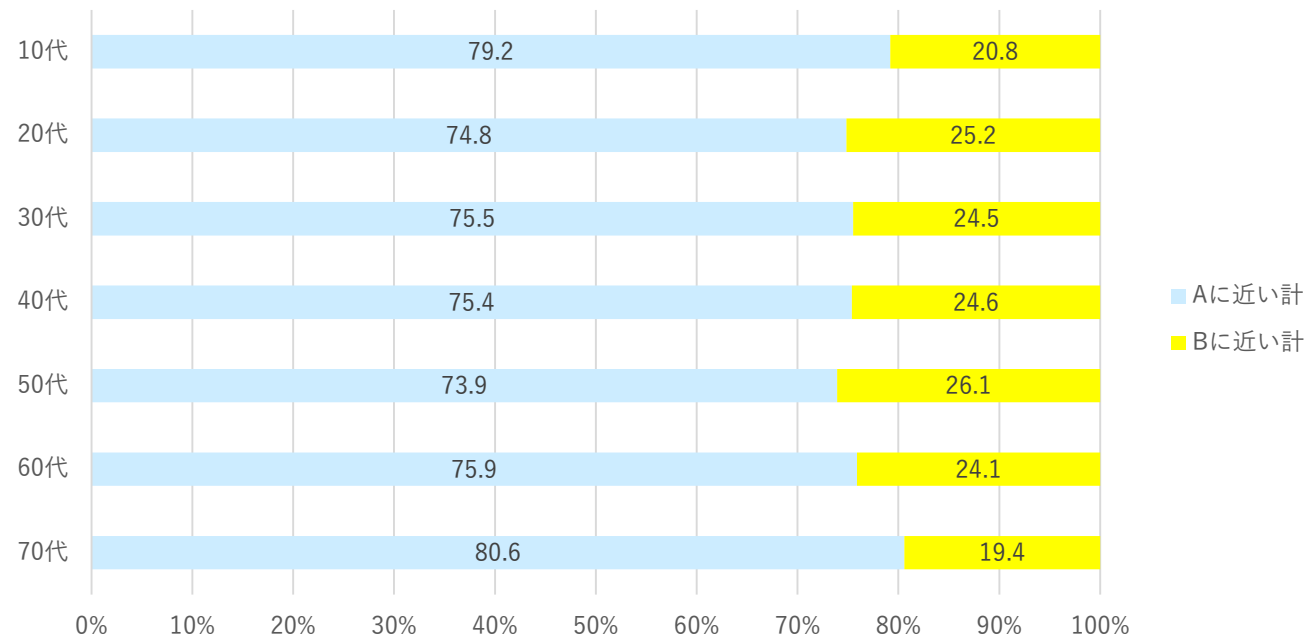
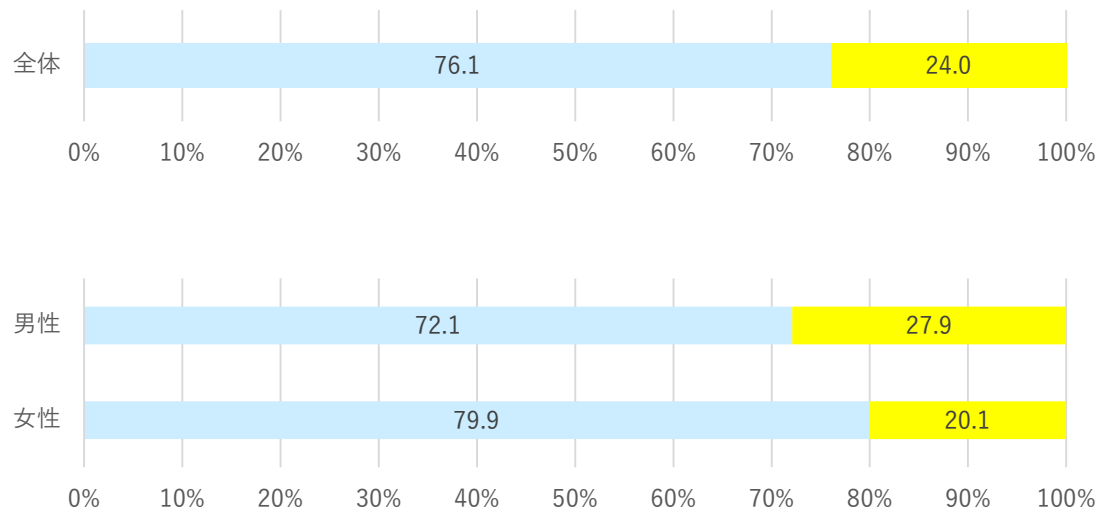
(注) グラフ内の各割合は全体に占める回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しています。そのため各割合の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

他者への寛容

A. 個人の自律性を重んじて、他者の行動に対して寛容な態度をとりたい **76.1%**

B. 社会全体の視点を重んじて、他者の行動に対して厳しい態度をとりたい **24.0%**



N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

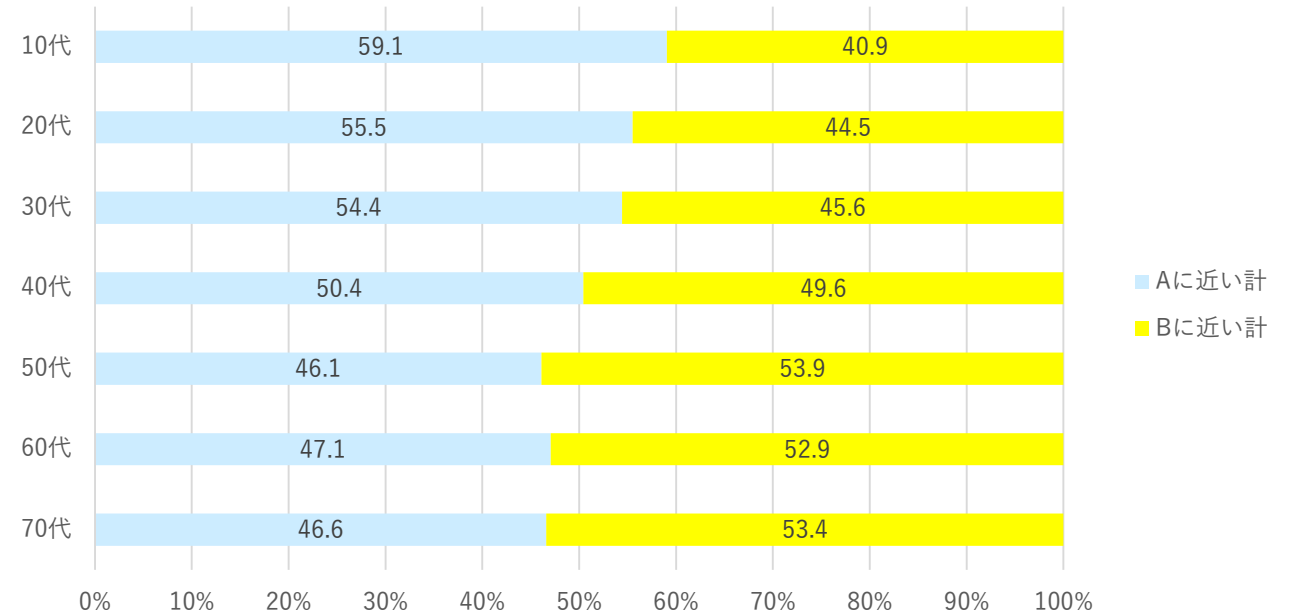
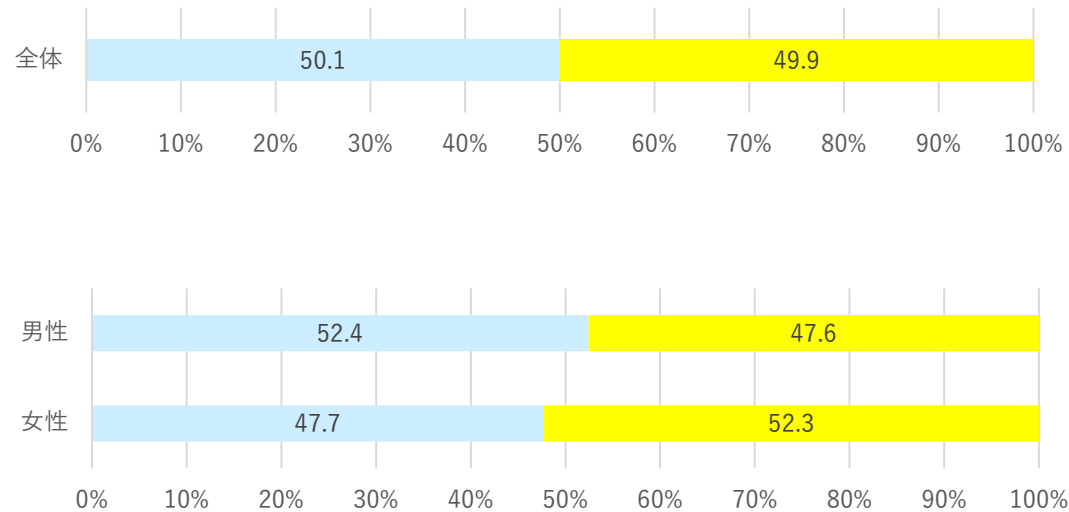
デジタル・ディバイド

A. デジタル化は、教育機会の拡大、不平等の解消につながる

50.1%

B. デジタル化は、教育機会の不均衡、格差の拡大につながる

49.9%



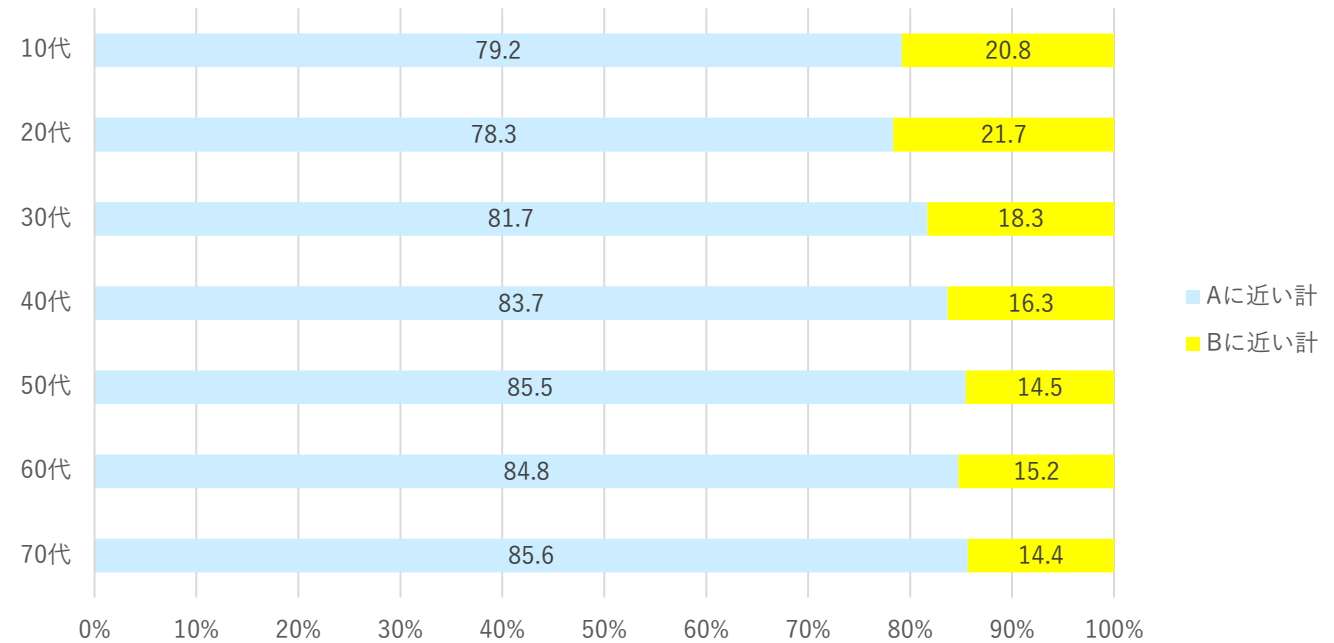
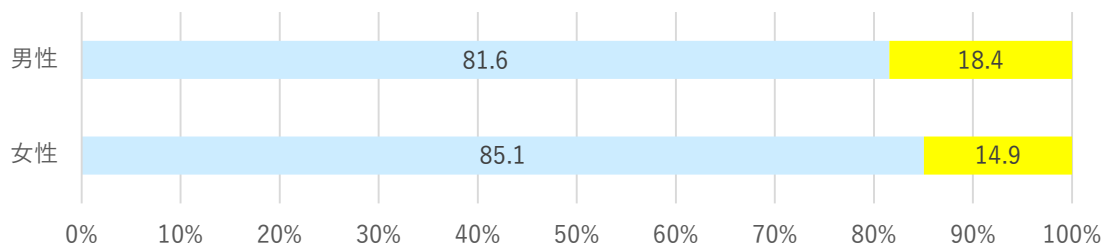
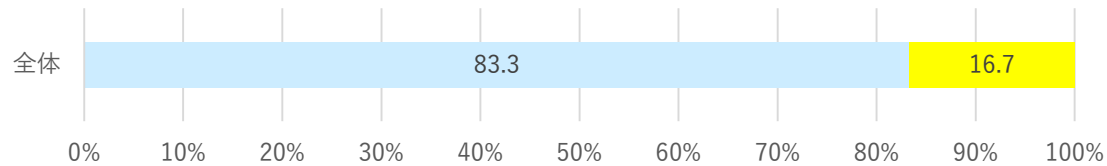
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

所有かシェアか

A. 必要なものは、所有して利用したい **83.3%**

B. 必要なものは、借りて利用したい **16.7%**



N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

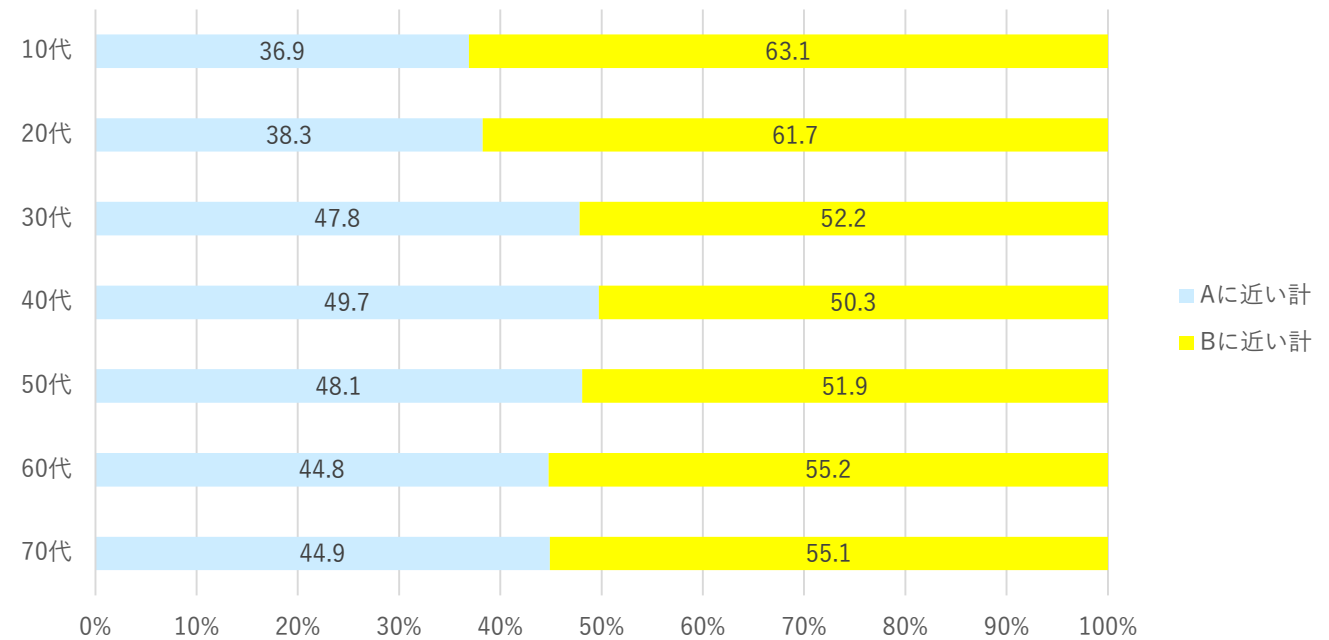
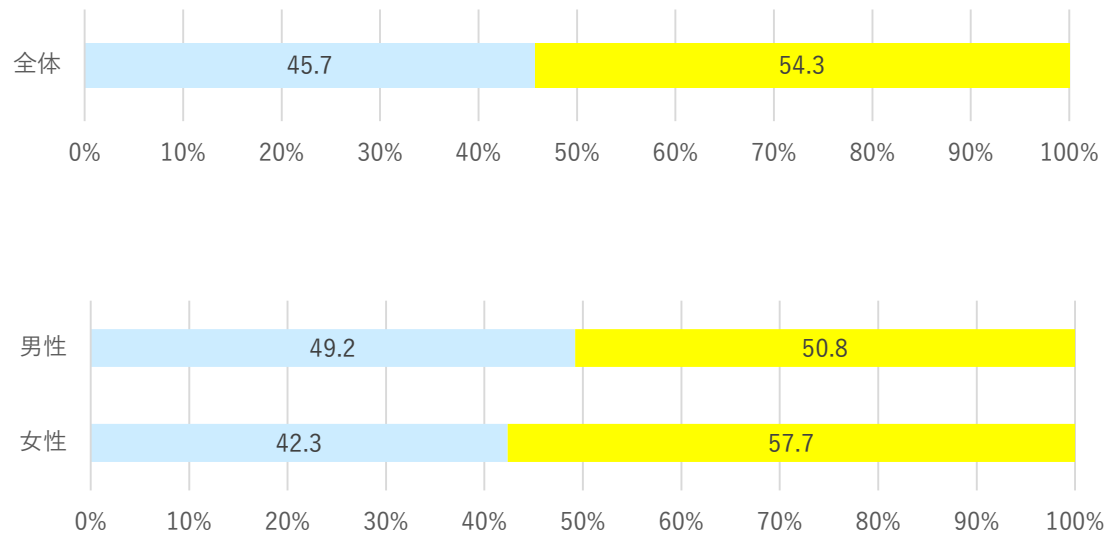
家族以外の信頼

A. 家族だけを信頼している

45.7%

B. 家族以外に信頼できる人がいる

54.3%



N=6,000

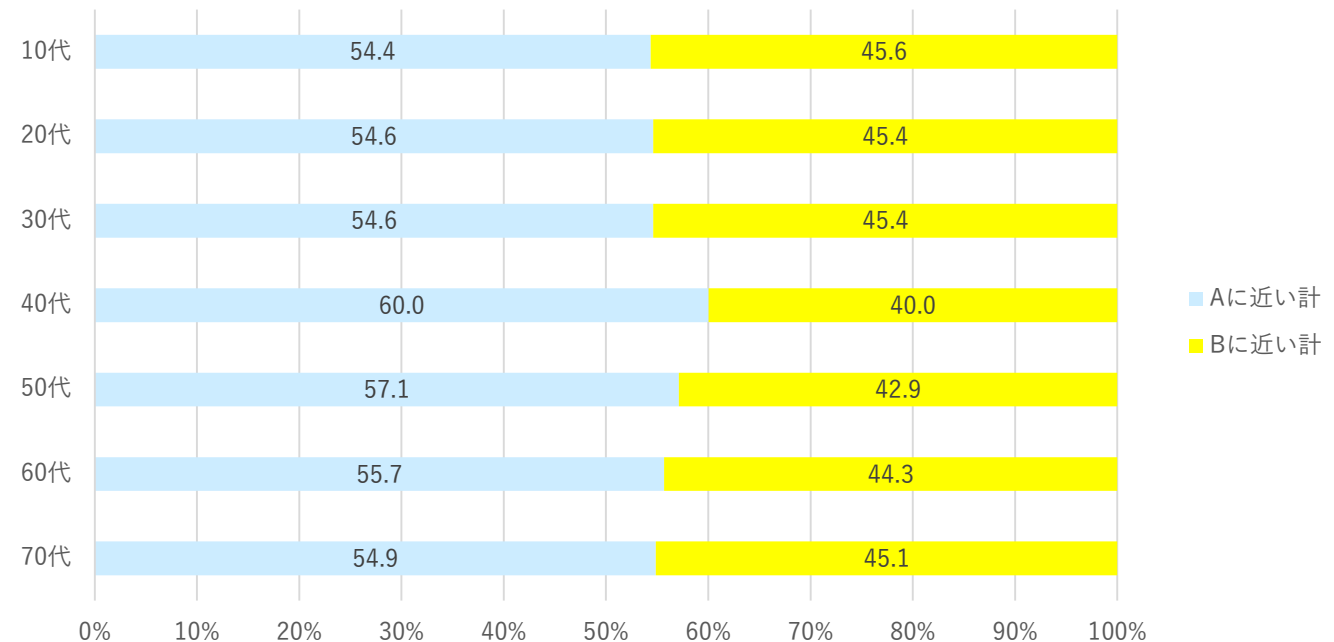
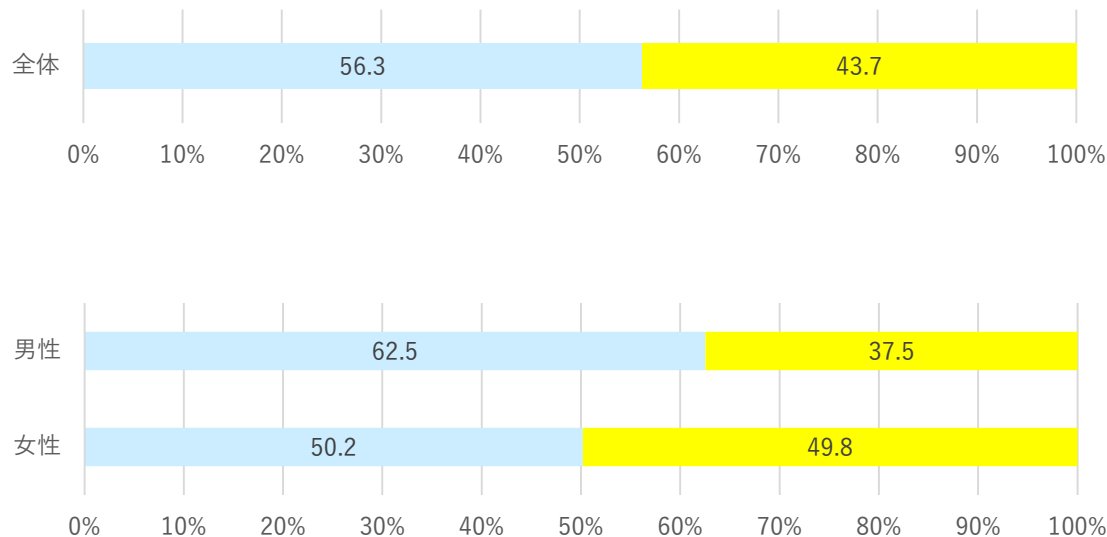


Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

政治参加

A. 政治や社会を変えるためには、制度化された投票行動が、有効だと思う **56.3%**

B. 政治や社会を変えるためには、ボランティア活動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などの行動が有効だと思う **43.7%**



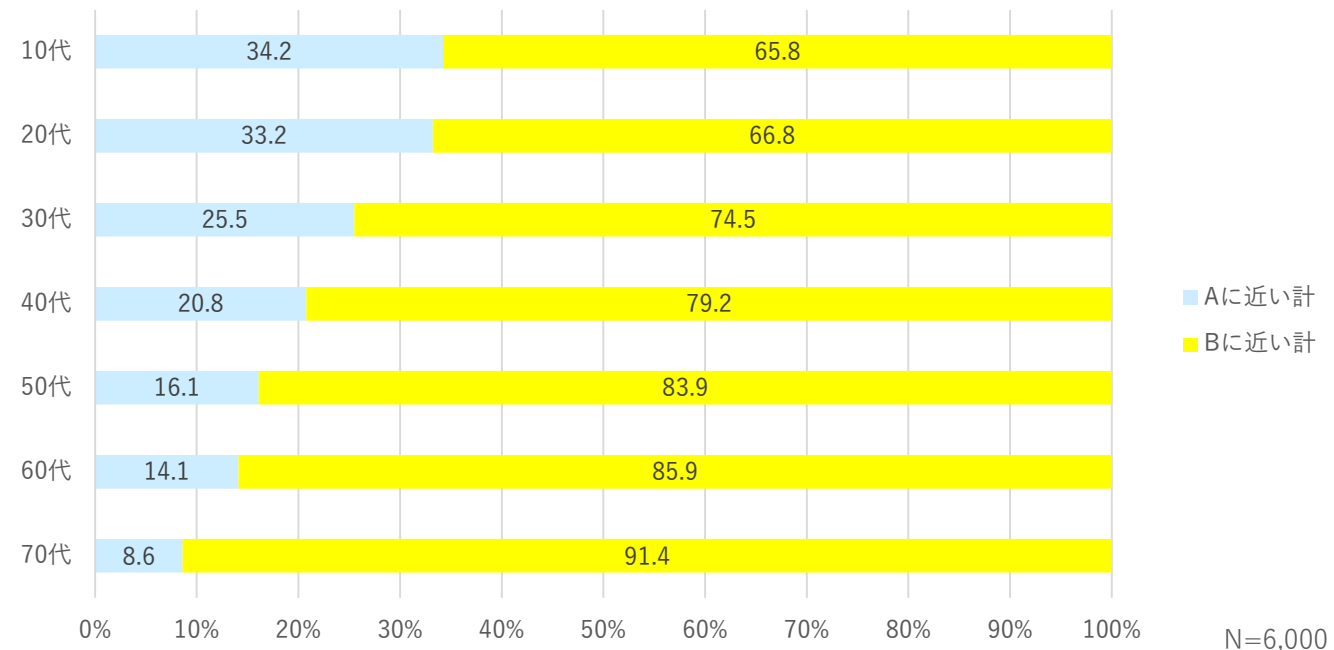
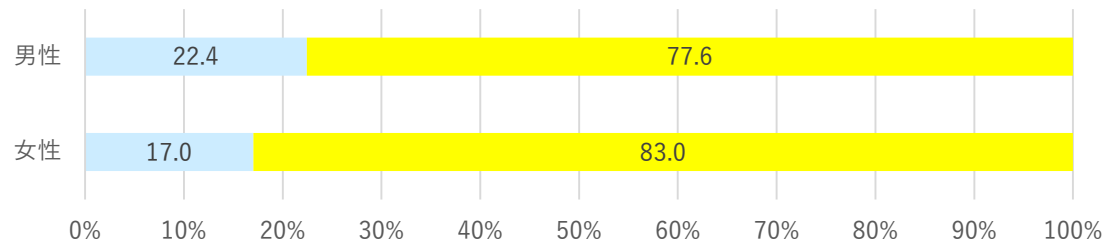
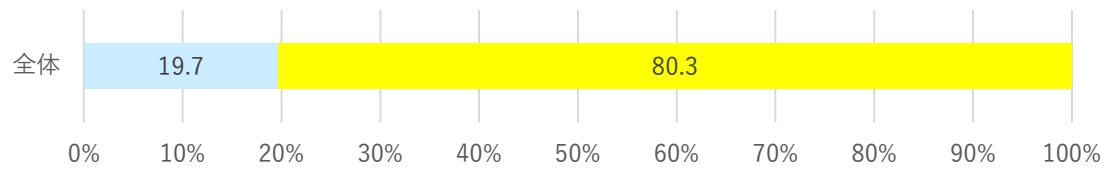
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

リスク対応の社会的脆弱性

**A. 大震災、気候変動による災害、インフラの老朽化など、  
さまざまなリスクに対して、社会的に十分な対応が整っていると思う **19.7%****

**B. 大震災、気候変動による災害、インフラの老朽化など、  
さまざまなリスクに対して、社会的に十分な対応が整っていないと思う **80.3%****



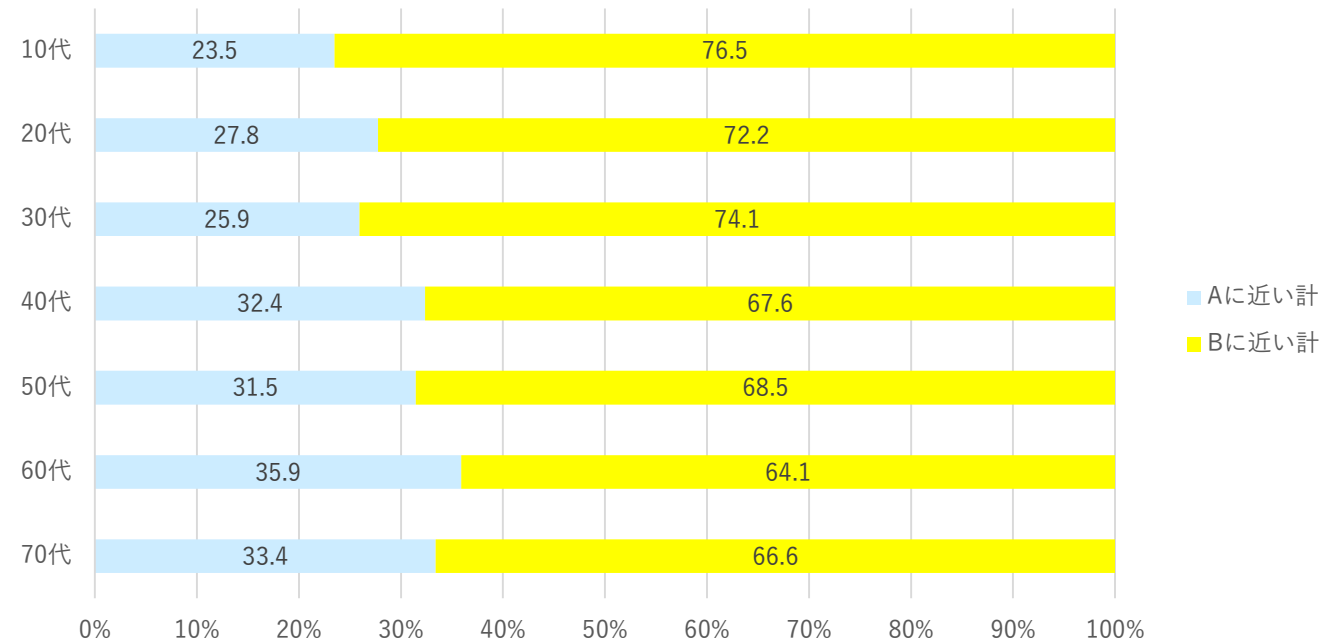
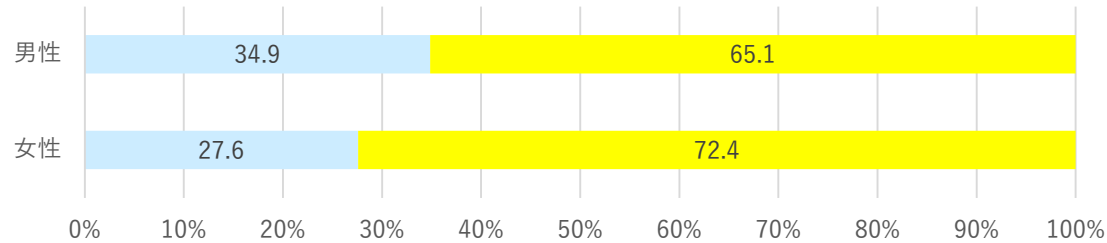
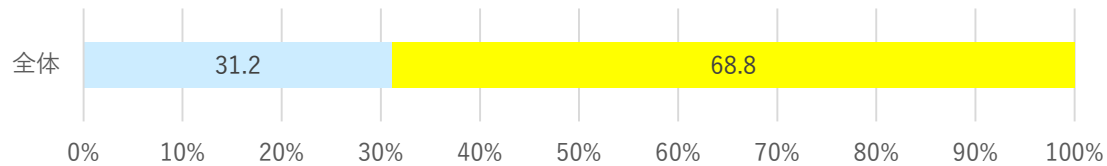
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

国の余力

A. 日本には余力があると思う **31.2%**

B. 日本には余力がないと思う **68.8%**



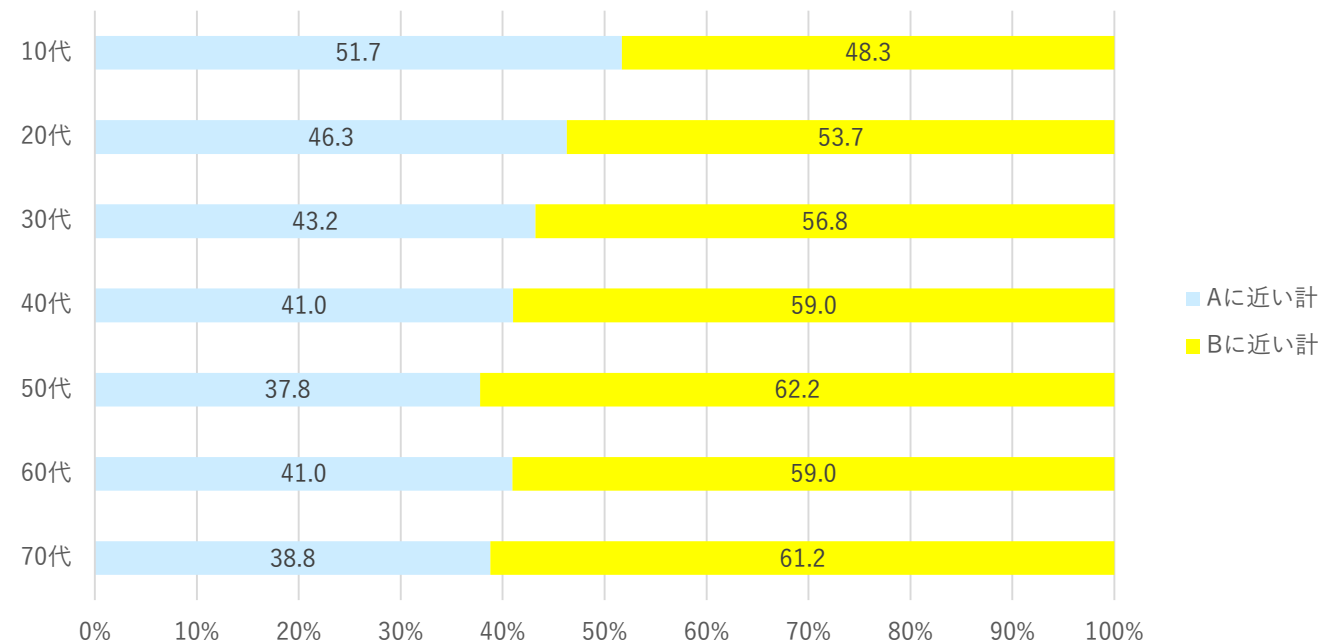
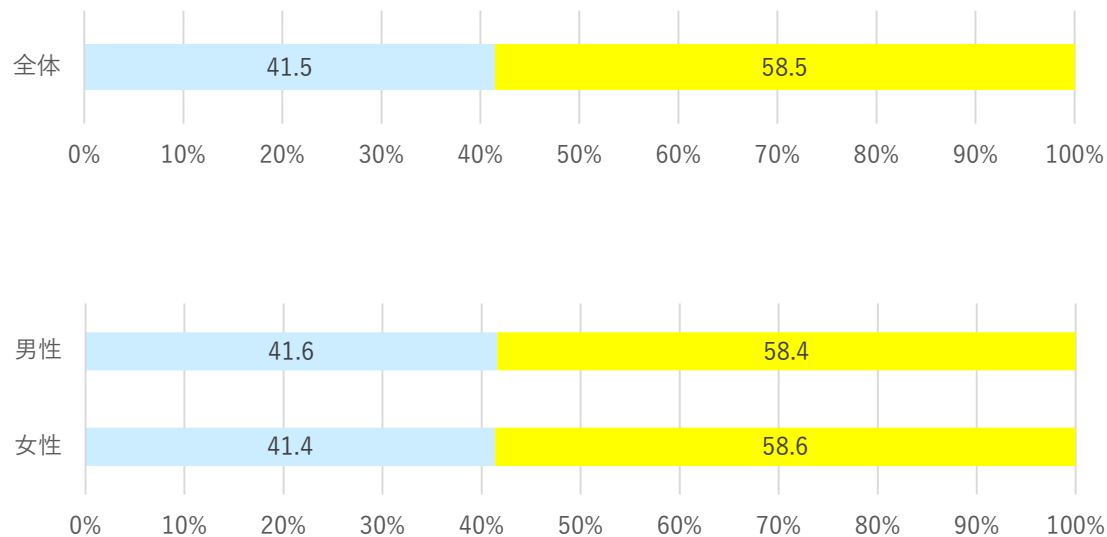
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

地域社会の余力

A. 自分の住む地域社会には余力があると思う **41.5%**

B. 自分の住む地域社会には余力がないと思う **58.5%**



N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

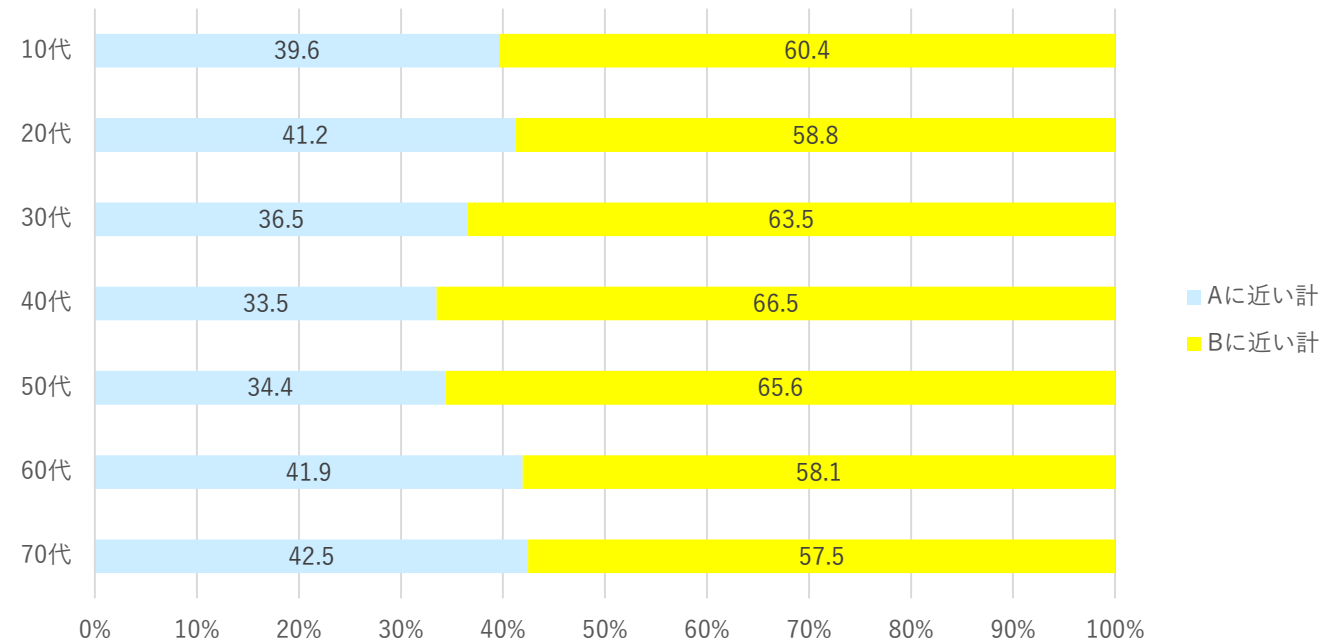
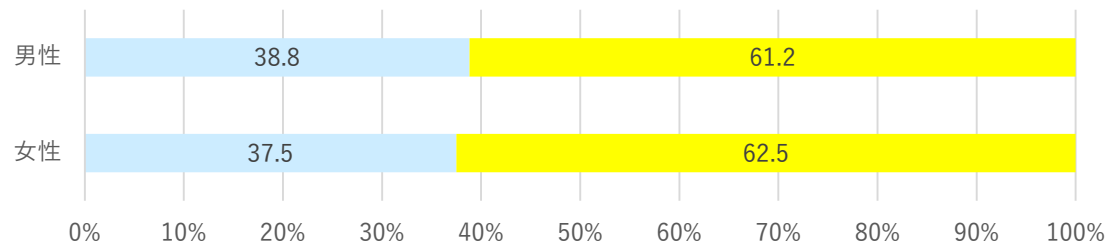
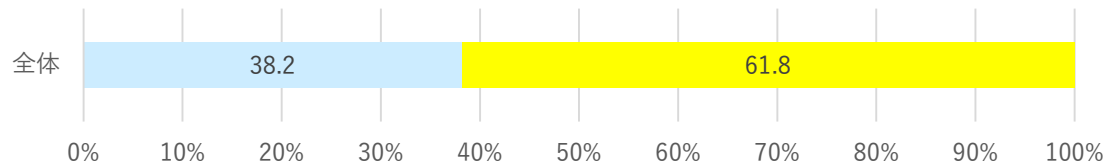
家計の余力

A. 自分の家計には余力があると思う

38.2%

B. 自分の家計には余力がないと思う

61.8%



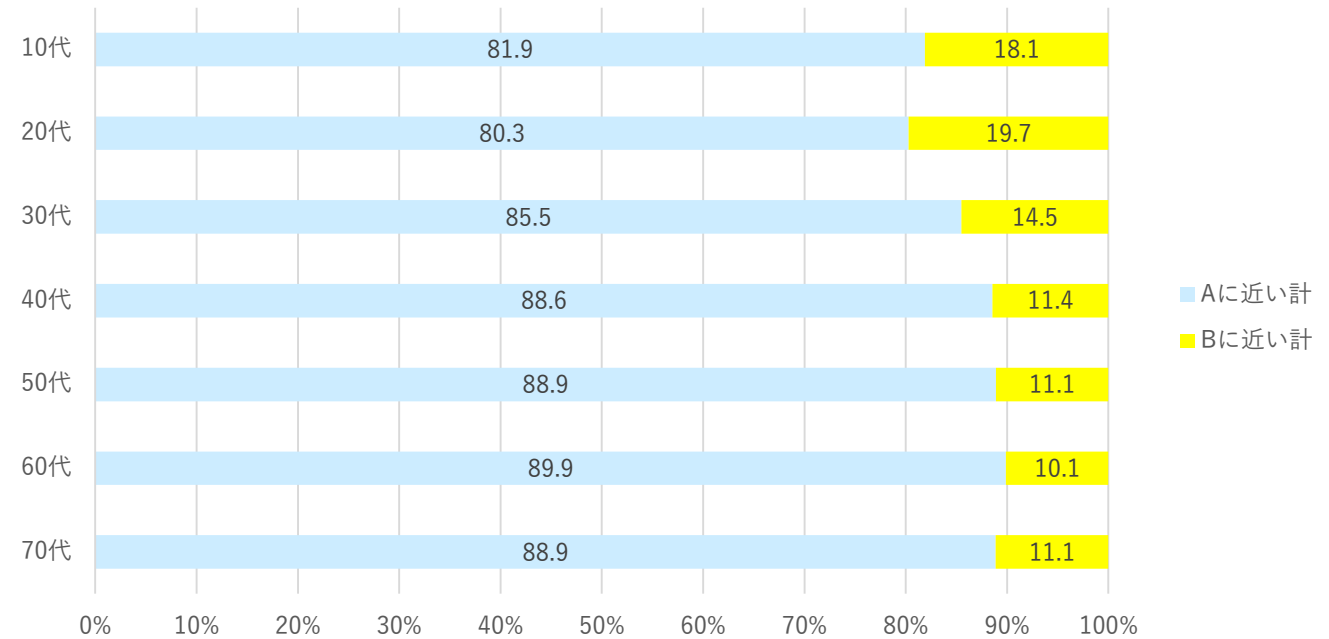
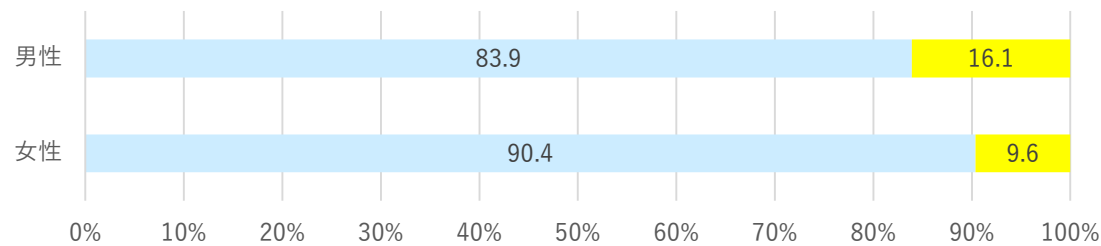
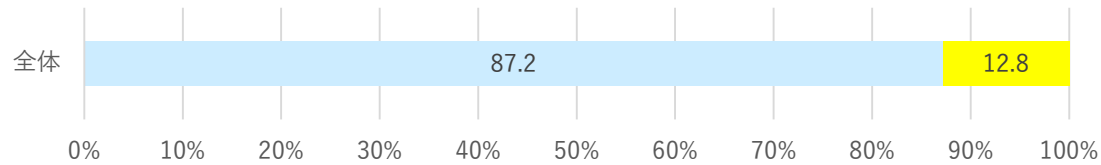
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

社会への不安

A. これからの社会に不安がある **87.2%**

B. これからの社会に不安がない **12.8%**



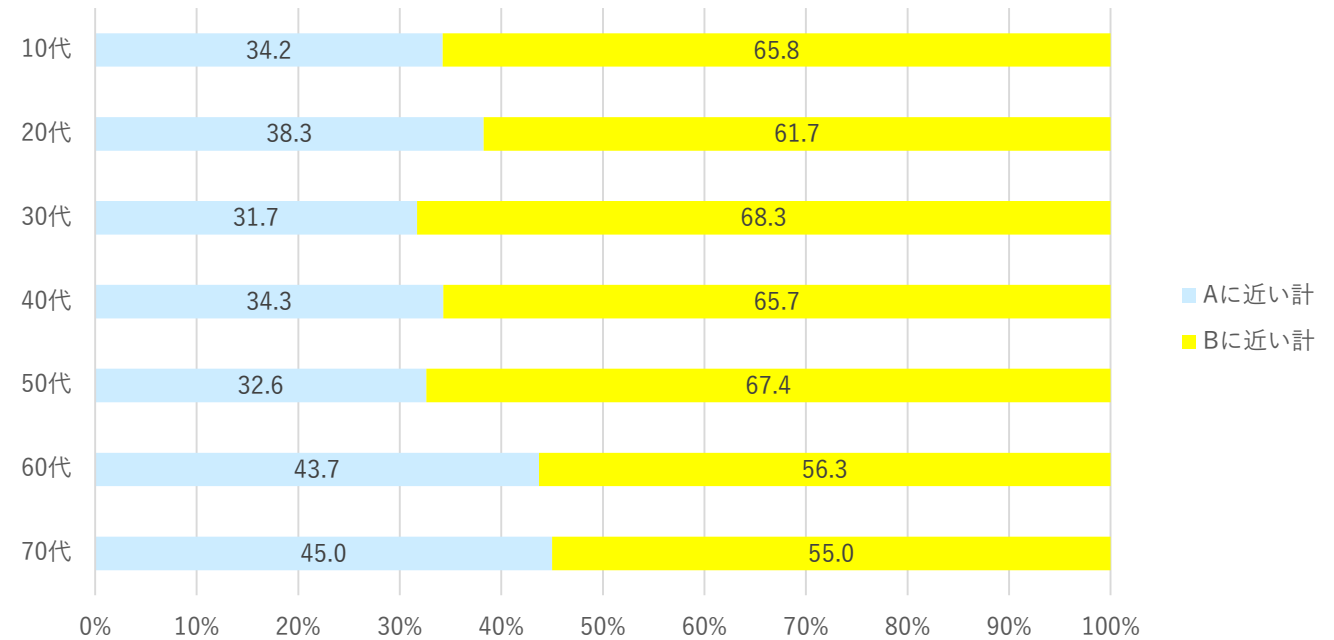
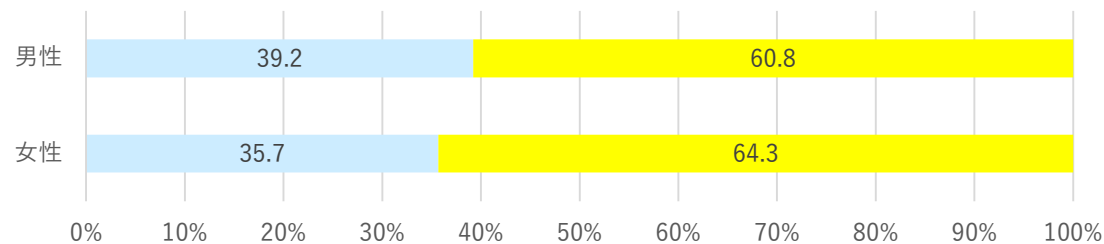
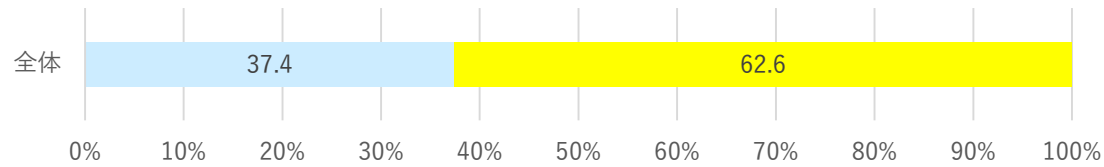
N=6,000

Q：現在の日本社会やあなたの生活において、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

社会への希望

A. これからの社会に希望がある 37.4%

B. これからの社会に希望がない 62.6%



N=6,000

Q：10年後の日本社会はどうなっていると思いますか。あなたの予想に近いものを、それぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

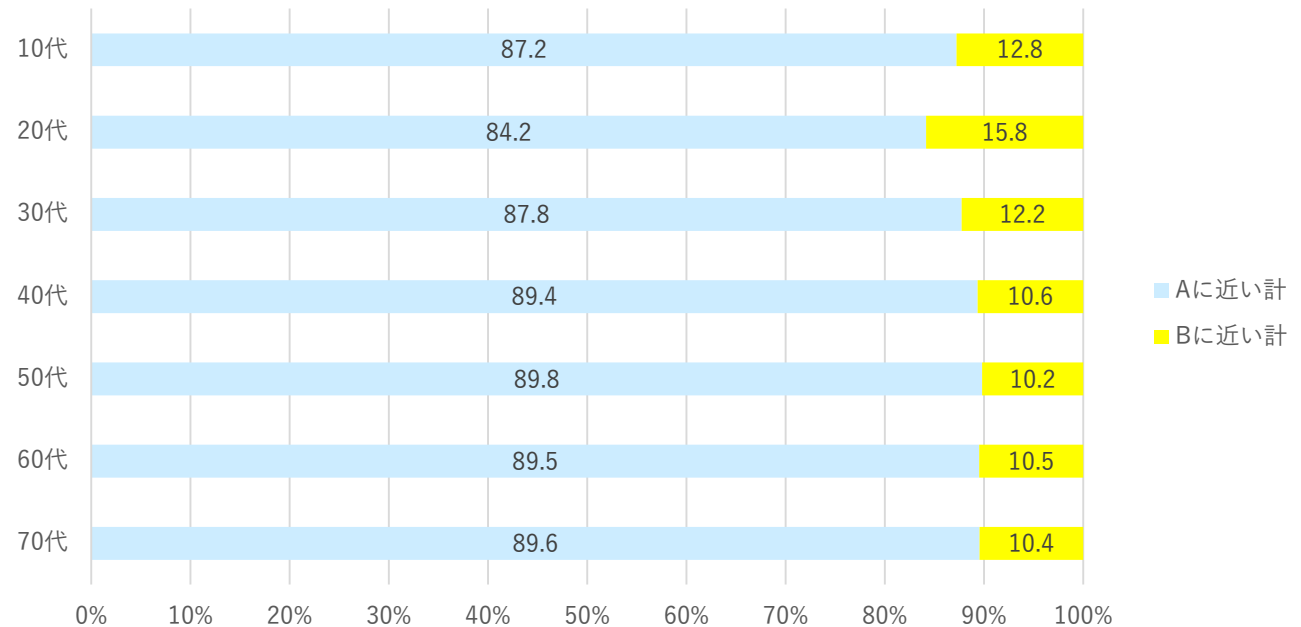
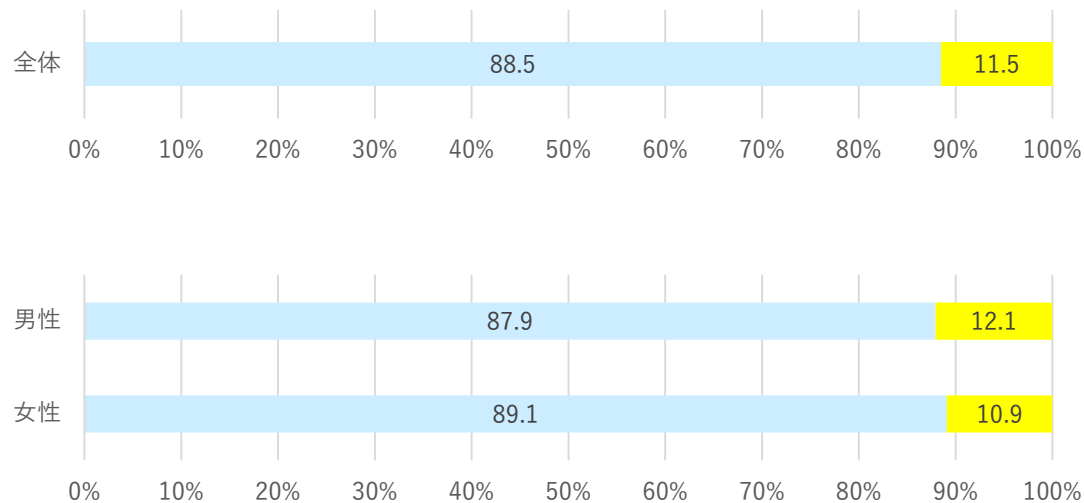
## 出生数

A. それぞれの年に日本で生まれた子どもの数を示す  
「日本の出生数」は、減り続けていると思う

88.5%

B. それぞれの年に日本で生まれた子どもの数を示す  
「日本の出生数」は、下げ止まっていると思う

11.5%



N=6,000

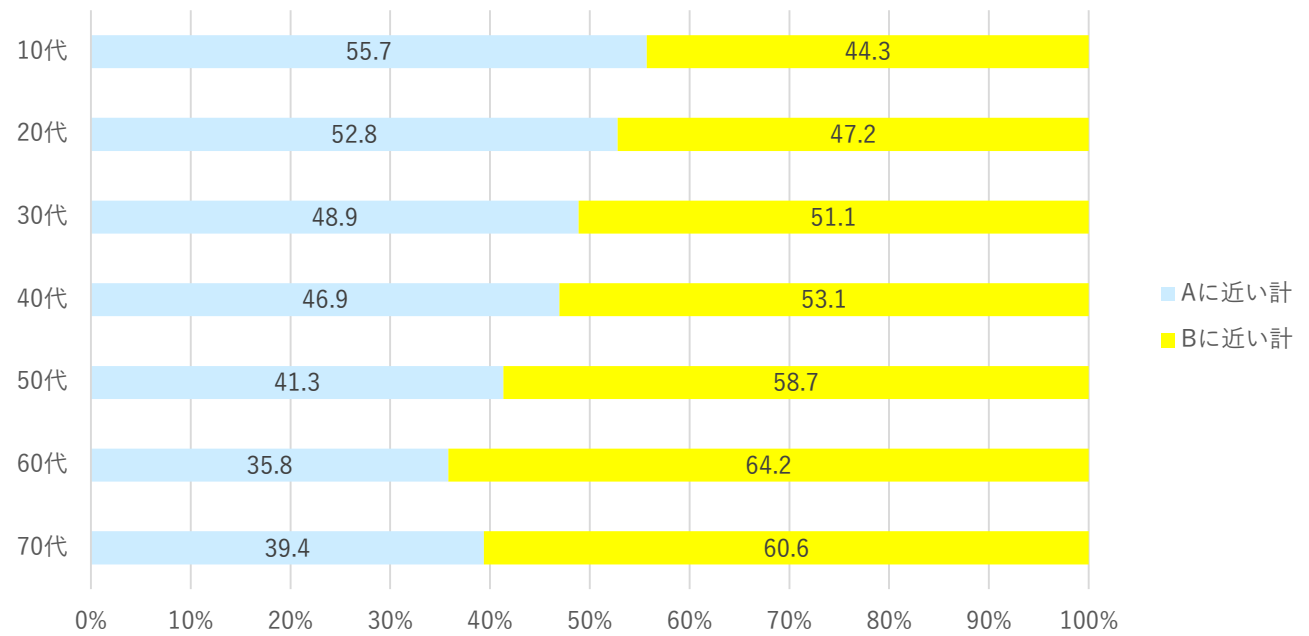
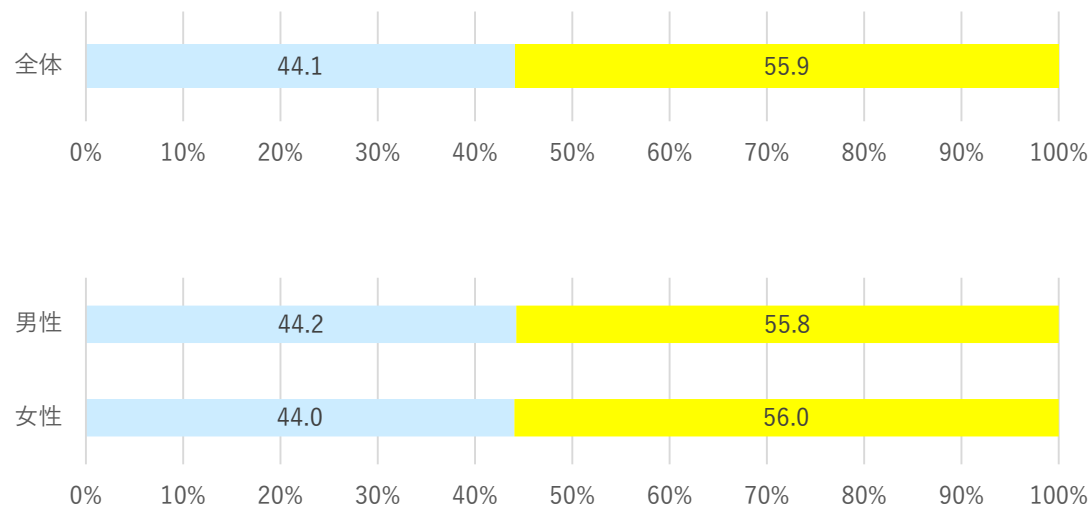


Q：10年後の日本社会はどうなっていると思いますか。あなたの予想に近いものを、それぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

## インクルージョンの達成

**A. 年齢、国籍、性別などが制約にならない社会になっていると思う** **44.1%**

**B. 年齢、国籍、性別などが制約にならない社会になっていないと思わない** **55.9%**



N=6,000

Q：10年後の日本社会はどうなっていると思いますか。あなたの予想に近いものを、それぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

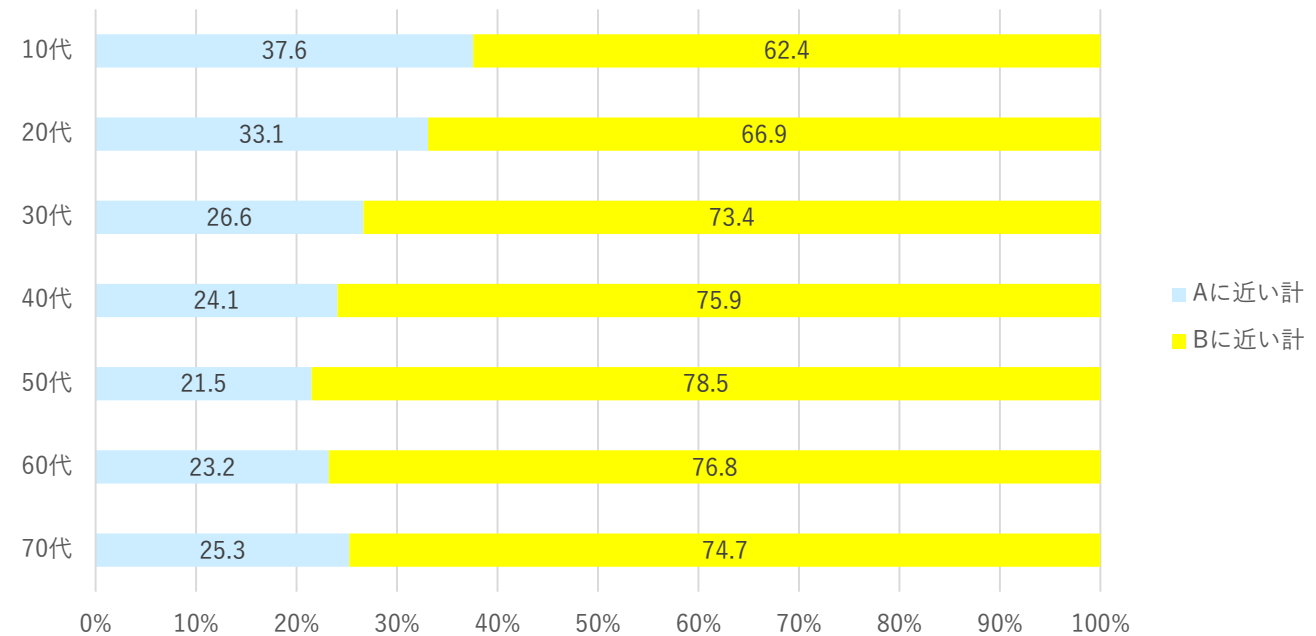
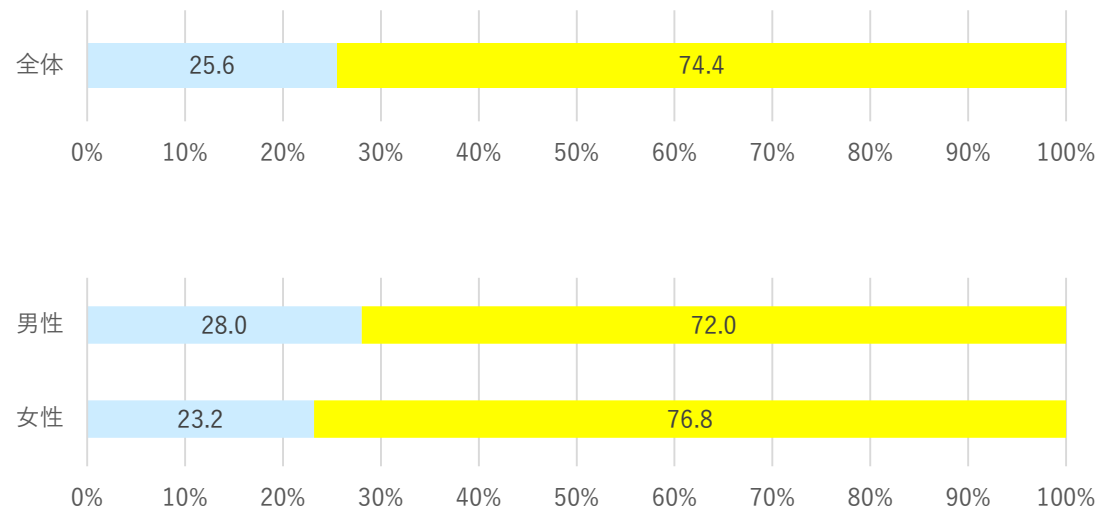
## 他者への信頼

A. 他者への信頼感が高い社会になっていると思う

25.6%

B. 他者への信頼感が低い社会になっていると思う

74.4%



N=6,000

Q：10年後の日本社会はどうなっていると思いますか。あなたの予想に近いものを、それぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

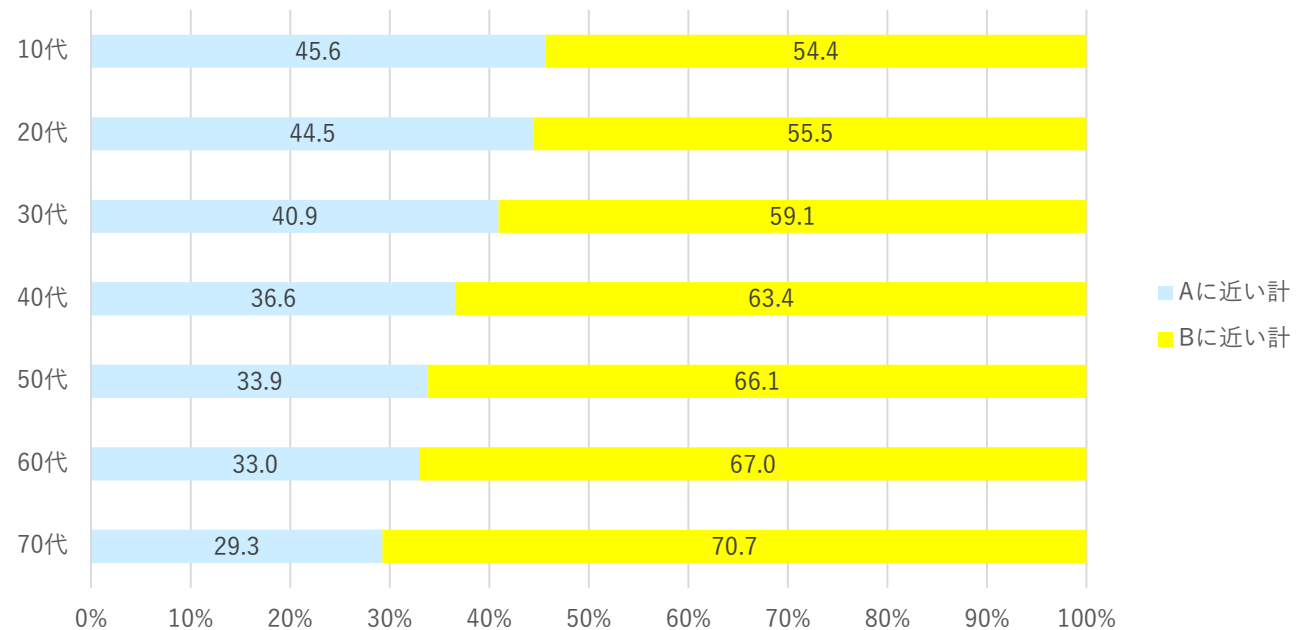
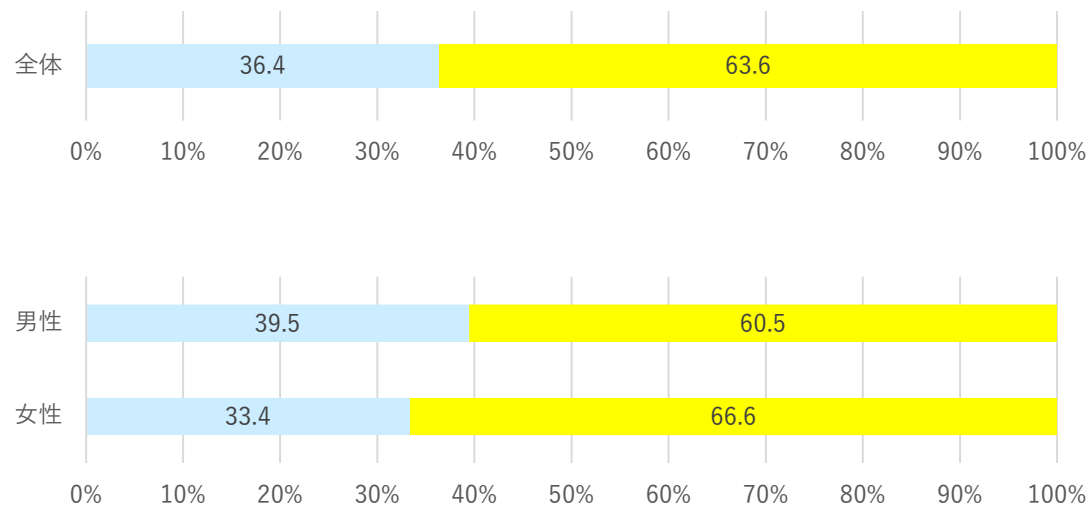
## 技術進歩と人間性

**A. 技術が進歩するほど、  
人間性が大切にされる世界になっていると思う**

36.4%

**B. 技術が進歩するほど、  
人間性が損なわれる世界になっていると思う**

63.6%



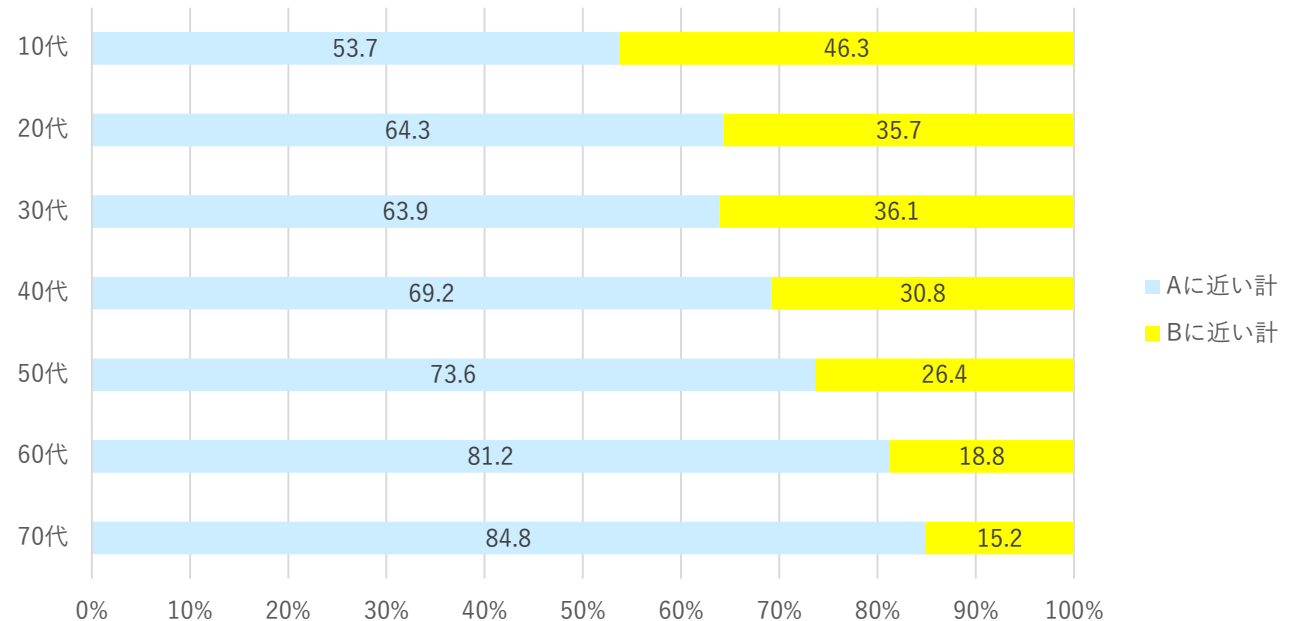
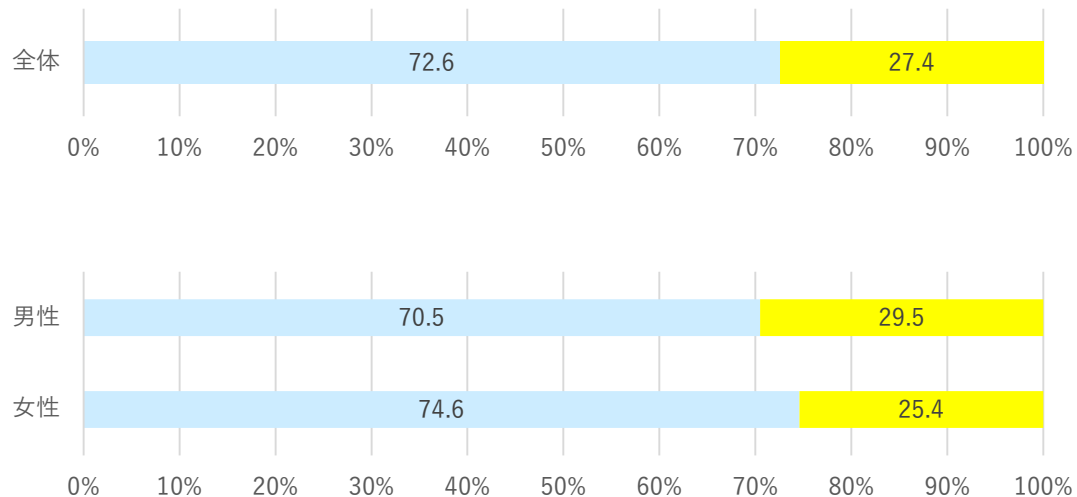
N=6,000

Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

地球環境対応のペース

**A. 国際社会は、温暖化など地球規模の環境問題への取り組みに対して、今よりさらにペースを加速すべきだと思う **72.6%****

**B. 国際社会は、地球環境問題と経済力維持の両方を重要視して、現状のペースを維持すべきだと思う **27.4%****



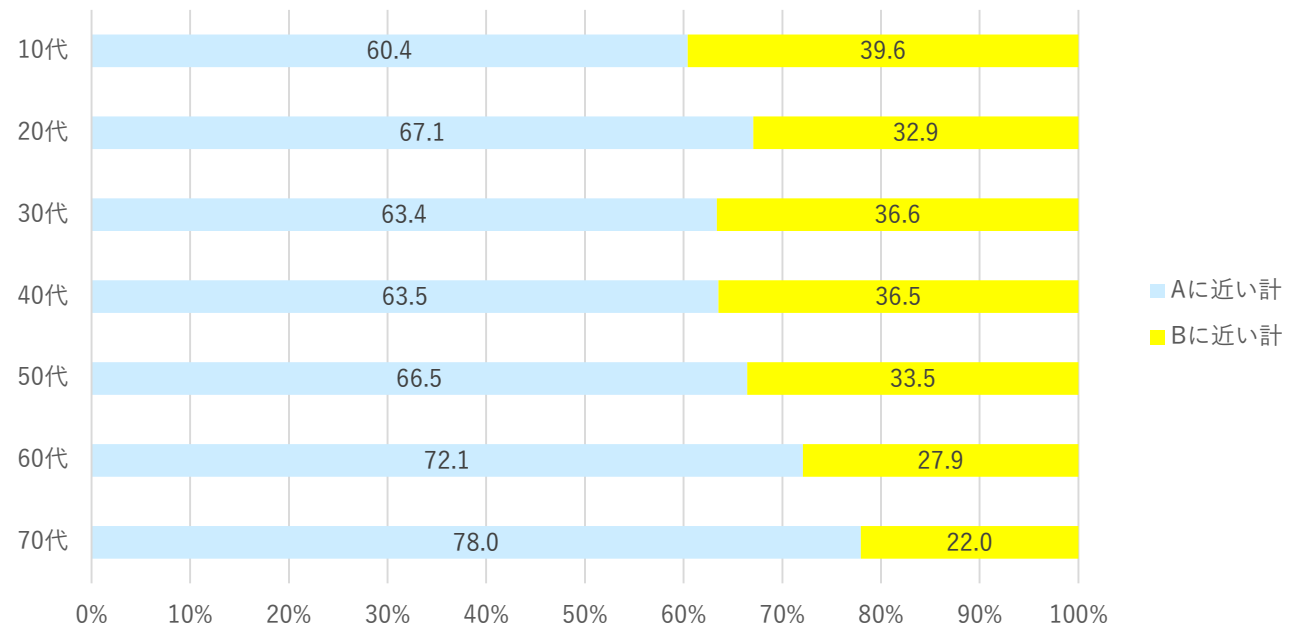
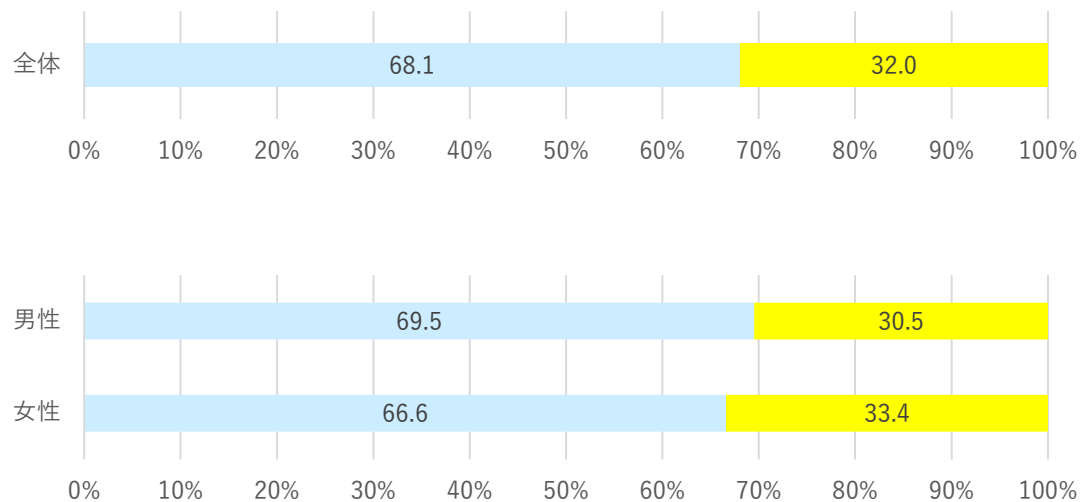
N=6,000

Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

国際協調

**A. 他国と協調して、グローバルな社会課題を解決することを優先すべきだと思う **68.1%****

**B. 自国の力で、自国の社会問題を解決することを優先すべきだと思う **32.0%****



N=6,000

Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

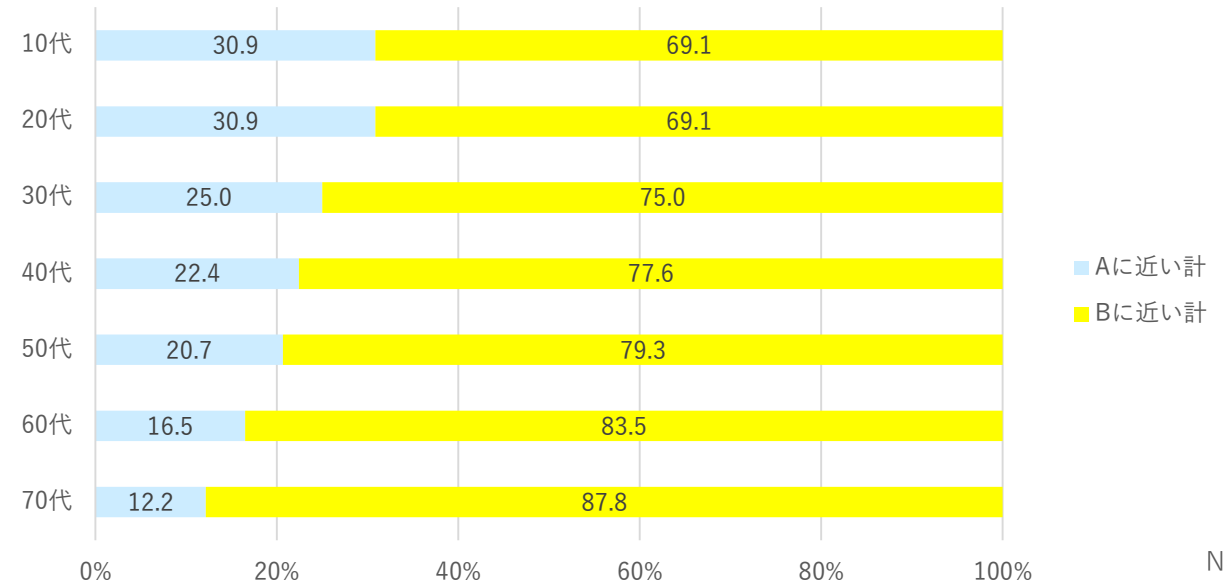
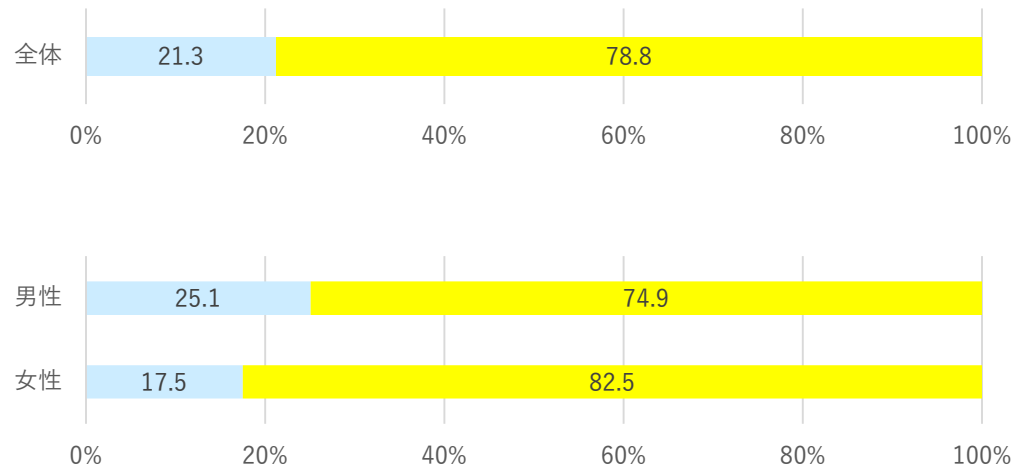
一極集中か多極分散か

**A. 日本は、政治・経済・文化などの重要な機能が、東京、大阪、名古屋など少数の大都市に効率的に集中している「一極集中型」社会を目指すべきだと思う**

21.3%

**B. 日本は、コミュニティ・経済などの機能が集約されている地域が多数存在し、地域ごとの文化や生活に多様性があり、リスクも分散できる「多極型」社会を、目指すべきだと思う**

78.8%



N=6,000

Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

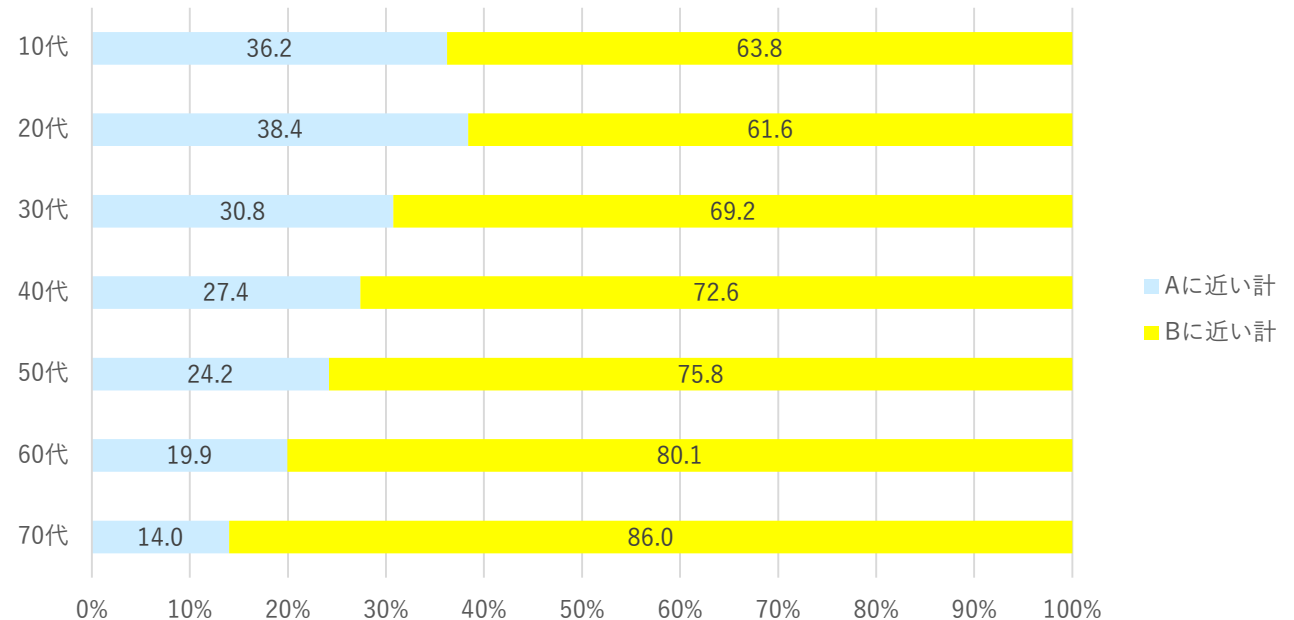
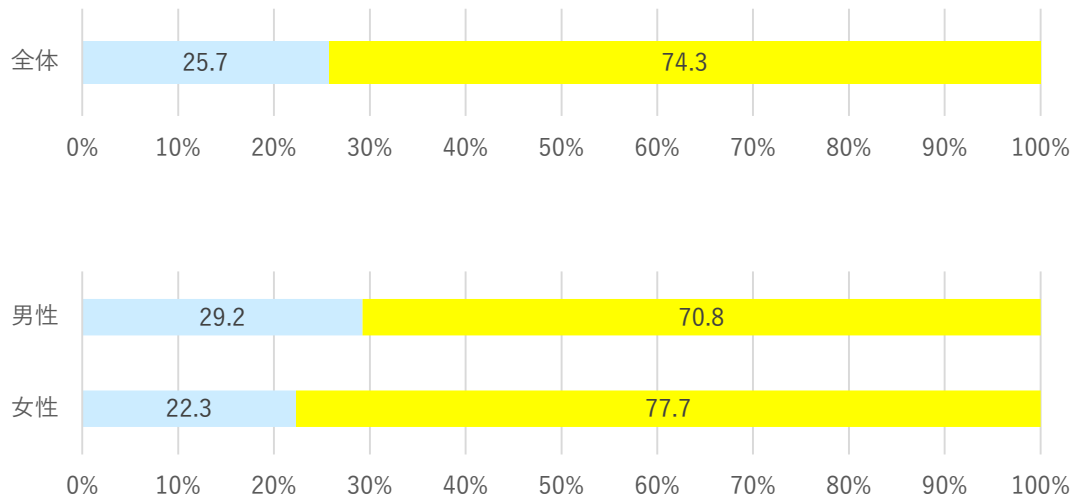
中央集権か地方分権か

**A. 人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、  
日本政府が多くの権限をもち決定すべきだと思う**

25.7%

**B. 人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、  
日本政府は各自治体に多くの権限を移譲すべきだと思う**

74.3%



N=6,000

Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

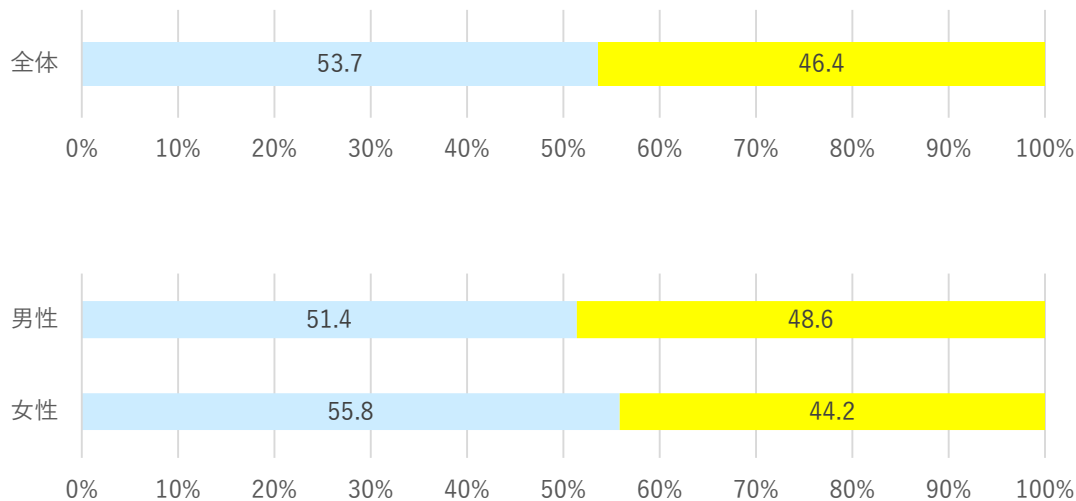
平等か成果に応じた分配か

**A. 日本は、働いた成果とあまり関係なく、  
貧富の差が少ない平等な社会を目指すべきだと思う**

53.7%

**B. 日本は、自由に競争し、  
成果に応じて分配される社会を目指すべきだと思う**

46.4%



N=6,000



Q：今後、国際社会や日本が目指すべき方向性として、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

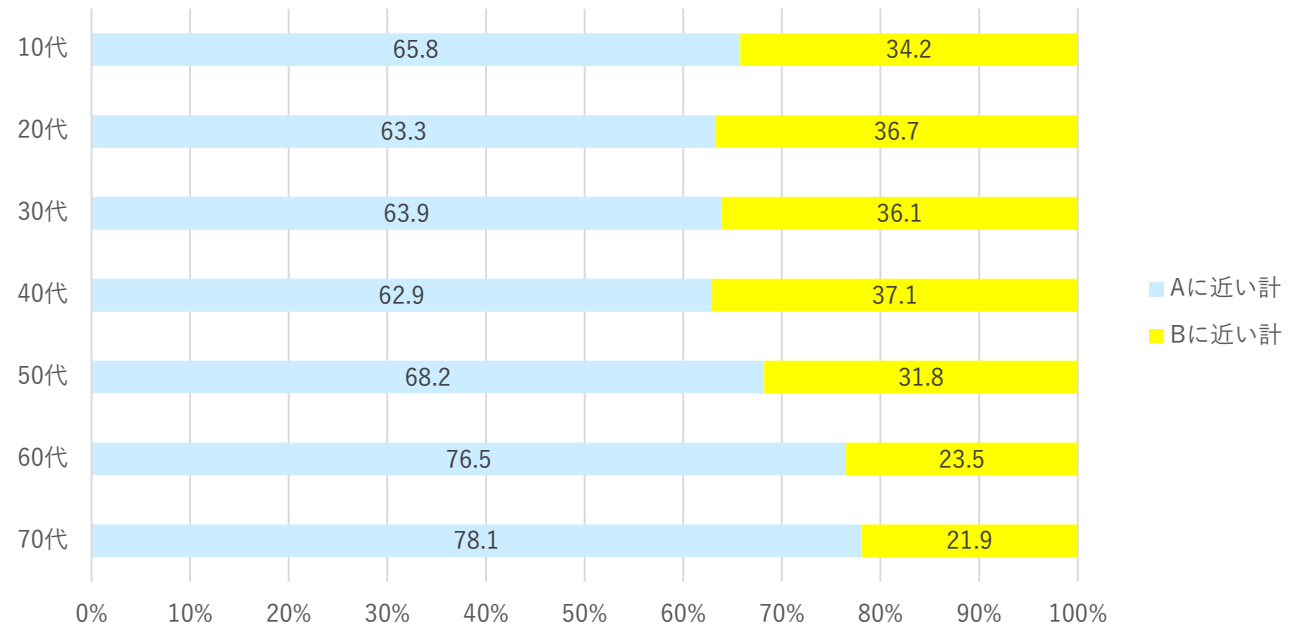
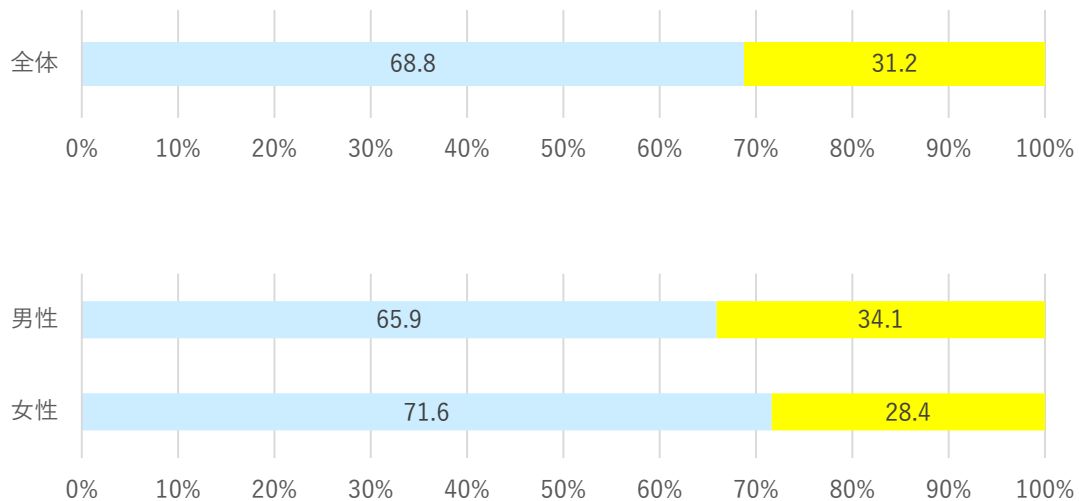
セーフティネットか税負担の少なさか

**A. 日本は、税負担は大きいが、福祉などの行政サービスが充実した社会を目指すべきだと思う**

**68.8%**

**B. 日本は、福祉などの行政サービスを必要最小限に絞り、税負担の少ない社会を目指すべきだと思う**

**31.2%**



N=6,000